

令和元年度事務事業評価シート(平成30年度実績)

◎基本情報

事務事業名		コウノトリブランド推進事業		担当部署	経済建設部 農林水産課		
総合計画体系				根拠法令計画など	なし		
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり		事業期間	開始	平成	28年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと					
(小項目)		農林水産業					
施策	3	農業の振興					
基本事業	1	農業経営の安定化とブランド化の推進			終期	未定	

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 生産者、生産者団体						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	本市に飛来している特別天然記念物「コウノトリ」に着目した、地元農産物の生産振興とブランド化を図るため、生産支援を行う。						
事業計画	30年度に何を計画していたか	地元農産物の生産振興とブランド化を図るため、「鳴門市コウノトリブランド認証制度」をもとに、鳴門藍住農業支援センター、JAと連携し、ブランド認証の条件となる「エコファーマー」のさらなる認定推進を図る。 県や地元住民等で構成する「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、①マナー対策②餌場確保対策③新たな商品のブランド化に向けた検討等に取り組む。						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位
		コウノトリブランド認証延べ件数	10	20	30	40	50	件

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	「コウノトリ定着推進連絡協議会」の活動の中で、マナー対策等を実施するとともに、巣周辺対策警備業務を見直しつつ引き続き実施。 新たな商品のブランド化も視野に入れて、豊岡市と意見交換を実施。					
事業実施手法		<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他					
	指標名	29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	22	22	30	40	50	件
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	コウノトリブランド認証延べ件数	22	22	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)		110.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり		事業全体の進捗状況			計画どおり	

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成30年度	当初予算額	0	0	0	4,000	280	4,280
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	4,000	280	4,280
		決算額	0	0	0	1,800	143	1,943
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費	
	0.2	0.0		1,464		3,407		

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	5,818	1,943	4,159	4,159	4,159
	うち一般財源	3,149	143	659	4,159	4,159
	人件費	1,447	1,464	1,464	1,464	1,464
	総事業費	7,265	3,407	5,623	5,623	5,623

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった	地元農産物の生産振興と新たな商品のブランド化に向け視野が広まった。
	効率性	B:概ね効率的だった	ブランド認証制度等の運用について、他市と意見交換等することで知識を深めることができ、効率的な運用方法の確認ができた。
②成果に対する評価	指標名	コウノトリブランド認証延べ件数	
	目標	20	件
	実績	22	件
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		B	平成30年度において、新たに認証制度を受けた者はいなかったため、コウノトリのブランド認証制度の運用の推進をさらに強化する必要があると思われる。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	巣周辺に県内外から観察者が訪れるようになったため、交通状況やマナーの悪化など、付近の営農者や地元住民に負担がかかっている状況となっていることから、周辺対策警備業務の見直しをするか更なる充実を図るか検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	ブランド認証制度の更なる推進を図るとともに、周辺対策についても引き続き実施する。			
	R2年度	ブランド認証制度の更なる推進を図るとともに、周辺対策についても引き続き実施する。			